



第29号

2023.1

めぐみの森

社会福祉法人 めぐみ会

<http://www.kcc.or.jp/>



年頭のあいさつ

社会福祉法人 めぐみ会

理事長 田中 利夫

令和5年の新春を謹んでお慶び申し上げます。

新年を迎えるにあたり、日頃より社会福祉法人めぐみ会にご理解とご支援を賜り、改めて心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症防止の対策に追われてきた3年間です。利用者様には面会、行事、法人祭、外出等の制限や自粛の対策をお願いしているところですが、今までの感染症対策を引き続き継続し、さらなる感染拡大防止対策を講じながら、今年は、ボランティア等の受け入れを再開し、利用者様に楽しく喜んでもらえる行事や外出等を計画します。また、法人祭には地域の方々の参加も検討していきます。

世界的な原油・天然ガス・穀物等の供給不足の影響により、電気代・ガス代・ガソリン代をはじめ食材料料費等の価格の高騰が長期化の傾向にあり、国民生活にも大きな負担となり、家計を直撃しています。昨年度、法人職員の基本給引き上げ効果も薄く、民間の春闘では5%要求でさらに差が拡大していく、施設経営においても電気・ガス代の高騰が圧迫しており、助成金等の一時的な対応では経営的には不安である、長期化を見据えた継続的で効果のある公定価格の大幅な改定を要望するところです。

社会福祉法人美咲会様と外国籍の介護人材確保・育成、海外に教育拠点をもち、現地にて語学、介護教育を行う事業について共同で研究を重ね、取り組みを発展・加速させるために「一般社団法人Kaigo福祉Lab」を設立し活動を開始しています。今年度は外国籍の職員が4名以上入職予定になっています。

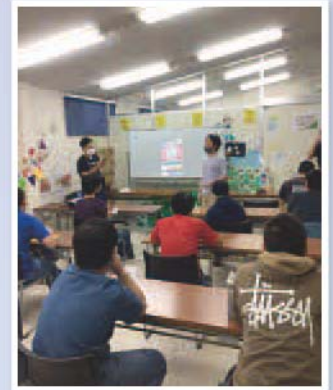
末筆ながら、皆様のご多幸とご健勝を祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。

のびる作業所ではコロナウイルスの影響によりイベントが行えない状況の中、少しずつイベントの再開をし始めました。

就労支援係では、上半期は8月にワタキューセイモア株式会社さんに工場見学へ行かせていただきました。皆さん一般企業で働く方の姿を見学させていただき大変勉強になった様子でした。今年度も地域のクリーニング屋さんから布団の作業を受注し、皆さん一生懸命に取り組んでいました。ご利用者の皆さん日々目標に向かい頑張っており作業をされています。

就労生活介護係では、ご利用者の皆さんの生活の一部として活動を行っています。毎月ささやかですがイベントを実施したり、作業を頑張ったり、余暇を楽しんで日々過ごされています。

今後ともご利用者の皆さんが望む暮らしへ少しでも近づいていけるよう活動を行っていきます。



地域生活

サポートセンター らいと

今回は、上期の事業報告と支援の報告をさせていただきます。

- ◆業務マニュアルの検討をおこないます。
⇒現行の業務に合わせた、緊急時の連絡方法の検討をおこなっています。
- ◆利用者のニーズに合わせた予約システムの検討をおこないます。
⇒利用者の皆様にご意見をお伺いしております。意見をまとめて検討していきます。

◆障害特性のスキルを上げるための研修へ参加します。

⇒上半期は研修参加できませんでした。

下期10月～11月に登録ヘルパー1名が同行援護の研修に参加しました。

12月～1月にかけて、「自閉症（ASD）の理解と支援」の研修を受講します。

◆登録ヘルパーの採用（2名以上）を目指します。

⇒1名の面接、2名の見学に対応しました。2名採用に向けて調整中です。

◆現在のサービス実施地域内のニーズ調査をおこないます。

⇒志木市：移動支援、生活サポートのニーズが多いです。

ふじみ野市：精神障害者の方の家事援助、行動援護、生活サポートのニーズが多いです。

◆近隣地域の利用ニーズを把握します。

⇒調査はしていませんが、所沢市からの相談が多いです。

◎11月現在、らいとの契約者数が141名となりました。障がい種別や年齢も様々で、らいとのサービスを複数組み合わせられて利用されている方も増えてきました。今後もより多くの方に利用して頂けるように、もっと利用しやすい事業所を目指していきたく思います。

11月くろすは久しぶりに地域のイベントに参加しました。地域の皆さんの反応が心配でしたが、多くの方に来て頂けました。9月のめぐみ祭りでも販売させて頂き、嬉しい限りです。

午後の活動では、金曜日に創作活動をしています。下半期も季節ごとの壁面装飾で、ハロウィンやクリスマスのリースづくりをしました。火曜日のMT的活動では、上半期に好評だったまるまる音楽の日を11月にも行いました。歌が大好きなくろすの皆さんの為、午前・午後とも歌うことを中心にプログラムを考えました。職員も張り切って参加していました。

その他の活動ではハーバリウムやスノードームを作ったり、クリスマスオーナメント・くろみボタンのマグネットなども行いました。出来上がりも良く、参加された皆さんに喜んで頂けました。

ご利用者・ご家族との連絡を円滑に行う為に、上半期にライン公式アカウントを開設しました。登録者数も増えて最近の利用の空き情報や活動の様子をアップしています。



グループホーム すてっぷ いっぽ

今年度は、コロナ禍により停滞しておりました地域行事などが徐々に活性化し、利用者の方と地域行事に参加する機会も増えてまいりました。いっぽでは2年ぶりに参加したグランドゴルフ大会で、一般参加者の方から多くのお声がけを頂き、地域の中で暮らしていることを改めて実感致しました。来年度は、例年参加していた「埼玉県ふれあいピック」にも参加予定となっておりますので、寒さに負けず競技の練習に取り組んでまいります。すてっぷもまた、感染症の状況次第ではありますが、少人数での日帰り旅行やみよしまつり（開催された場合）の出店等も取り組めたらと考えております。

利用者皆様の安全と健康を第一に考えつつ「利用者の自分らしく自立（自律）した暮らし」を実現するべく、支援に努めてまいります。新たな気持ちで今年も一年よろしくお願ひ申し上げます。



相談支援センター かしの木

相談支援センターかしの木では、計画相談として三芳町、富士見市、ふじみ野市在住で障害福祉サービス受給者証の発行を受けている方への福祉サービスの利用手続きや調整支援を行っているほか、三芳町の委託相談として町内にお住いの障がい者の方とご家族の方向けに在宅生活の定着・安定を目標とした生活相談を行っています。

様々な形の福祉サービス事業所が増えている一方で、計画相談の人員は制度上、増えにくいものになっていますので近隣市町村においても事業所が不足しているのが現状です。

相談支援は1人で多数の利用者を受け持つことも多く、各相談員の負担軽減と支援の質の平均化のためには業務効率化が必須となっています。

上半期の事業報告としてはこの課題に対して、業務改善の会議を実施、記録の入力から書類管理方法の見直し、支援の均一化・持続可のために他市の業務マニュアルの情報収集などを行いました。

ここ数年はコロナのために各会議や、研修も自粛傾向にありましたが、緩和と共に参加回数も増えるようになりました。コロナ禍の過去2年においても法人内の施設から単身移行が達成できた方がおり、今年度下半期もそのような良い支援ができるようにしていきたいと思ひます。

裏表紙は、毎年恒例行事となりましたイルミネーションの点灯式の様子です。年々LEDの数も増え、今回はかしの木、くろすの間にある中庭に装飾しとても幻想的な空間に仕上がりました。寒さも本格化する中、多くのご利用者の皆さんに参加していただき、笑顔であふれ心温まるイベント



トとなりました。施設の中しか見られないのはもったいないという声も聞かれ、近い将来、施設外の方にも見てもらえるような機会ができればと考えております。

また、クリスマス会では、新人職員による企画により無事に開催することができました。お昼ご飯は、チキンや寿司、ケーキなどを準備し、その他ダウトゲームやビンゴ大会をおこない、ご利用者の皆さんからは楽しそうな様子を伺うことができました。

来年度は、以前のようにご家族様をご招待しての開催ができるよう願うばかりです。

健康支援係

入所担当

- ①認知症予防：少人数の利用者を対象とし、個々に目的を持った取り組みをおこなっています。
- ②便秘予防：少人数の利用者を対象とし、腹部マッサージを継続しています。
- ③褥瘡予防：評価のためのスケールを選択しています。
- ④トランスファー：皮下出血の要因などについて、トランスファー方法の見直し・改善点を検討しています。

通所担当

- ①介護職による喀痰吸引等の医療的ケアに対応できる職員育成を継続しています。
- ②感染予防の知識を高めるために、研修を実施しています。
- ③リハビリ提供状況を集約し、より多くのニーズに応えられるよう努めています。

健康支援係全体：今年度は「福祉現場で求められている医療職はどんな人材か」を話し合い、係内で目指す職員像をイメージしながら人材育成を進めています。

栄養係

栄養係では、ご利用者の皆さんに喜んでいただける食事、安全でおいしい食事の提供を目標に季節や行事に合わせた様々なイベント食や、メイン料理や丼物、ラーメン、デザートなどのセレクト食を毎月6回以上実施しております。

そして、定期的にご利用者の食べたい料理を伺い、できるだけ毎月の献立に取り入れるようにしています。最近では、五目あんかけ焼きそば、オムハヤシ、ミートドリアなどを提供いたしました。また、主菜を盛り付ける新しいお皿を導入しました。お皿が変わるだけでも食事の見栄えは大きく変わり、ご利用者も職員もお皿が変わると気分も変わるねと喜んでくださりました。

今後もご利用者の皆さんに、食の大切さや楽しさを感じていただけるよう、日々工夫を凝らしてまいります。



めぐみ祭 2022

2022.9.28におこなわれましためぐみ祭の様子です。

今年度も昨年度に引き続き、事業所ごとに開催するという形になりました。

中でものびる作業所に三芳町のボランティアグループ「ブアカーネーション」をお招きし、演奏と踊りを披露して頂きました。

まだまだ感染症の影響は大きいですが、少しずつ地域の方とのふれあいを増やしていけるよう努めていきます。



2022年文化作品展

毎年11月に開催している文化作品展ですが、今年のかしの木ケアセンター、くろす、のびる作業所の3か所で展示をおこないました。

各事業所で創意工夫を凝らした作品が集まり、彩鮮やかな展示となりました。ご利用様も間近で作品を見ることができ好評でした。

来年度もまた良い作品が集まると良いですね。



かしの木



かしの木



くろす



くろす

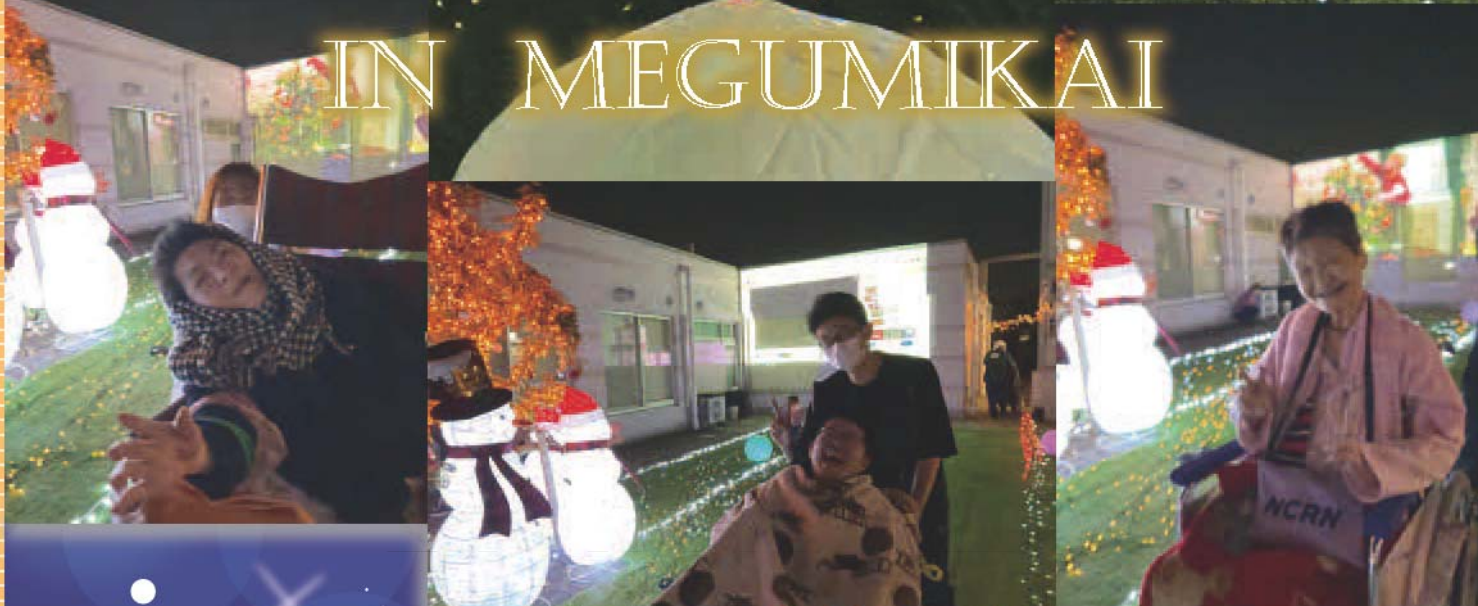


のびる





ILLUMINATION IN MEGUMIKAI



instagram

めぐみ会フォトストーリーズ
on instagram

社会福祉法人めぐみ会の活動をInstagram等で
発信しています。QRコードを読み取って是非ご覧ください。



編集後記

2023年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。2023年1回目のめぐみの森の表紙は、かしの木ケアセンターの
ライトアップの様子です。きらきらひかるイルミネーションを見るとテンションが上がりますね。
ご利用者様にも好評をいただいています。
本年も社会福祉法人めぐみ会をよろしくお願いいたします。